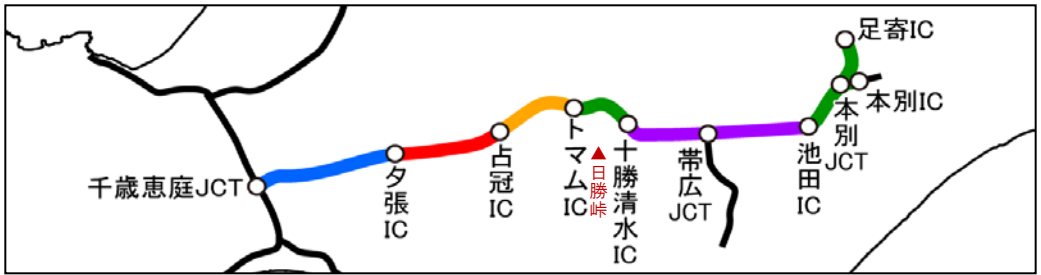
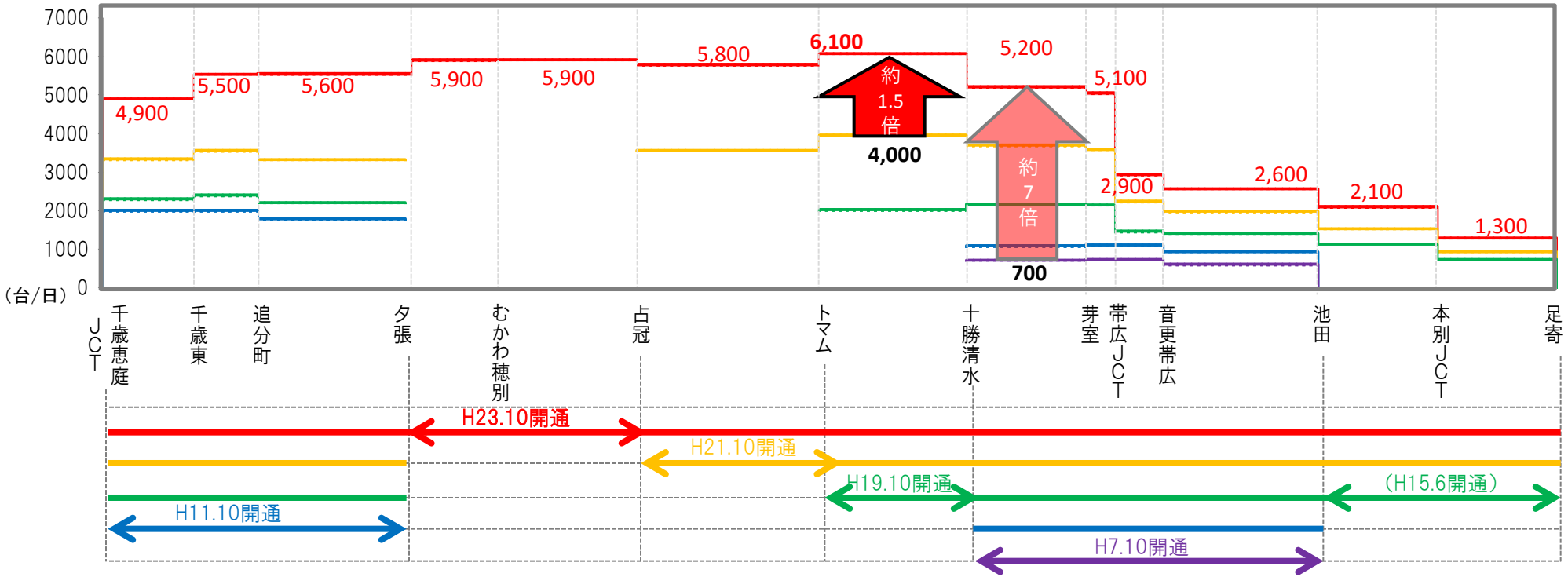


# ■ネットワーク形成効果で利用増加

○国道274号日勝峠と並行する区間の日平均交通量は、開通前の約1.5倍となる6,100台に増加。

○平成7年10月の開通区間の日平均交通量は、開通当初の約7倍となる5,200台に増加。

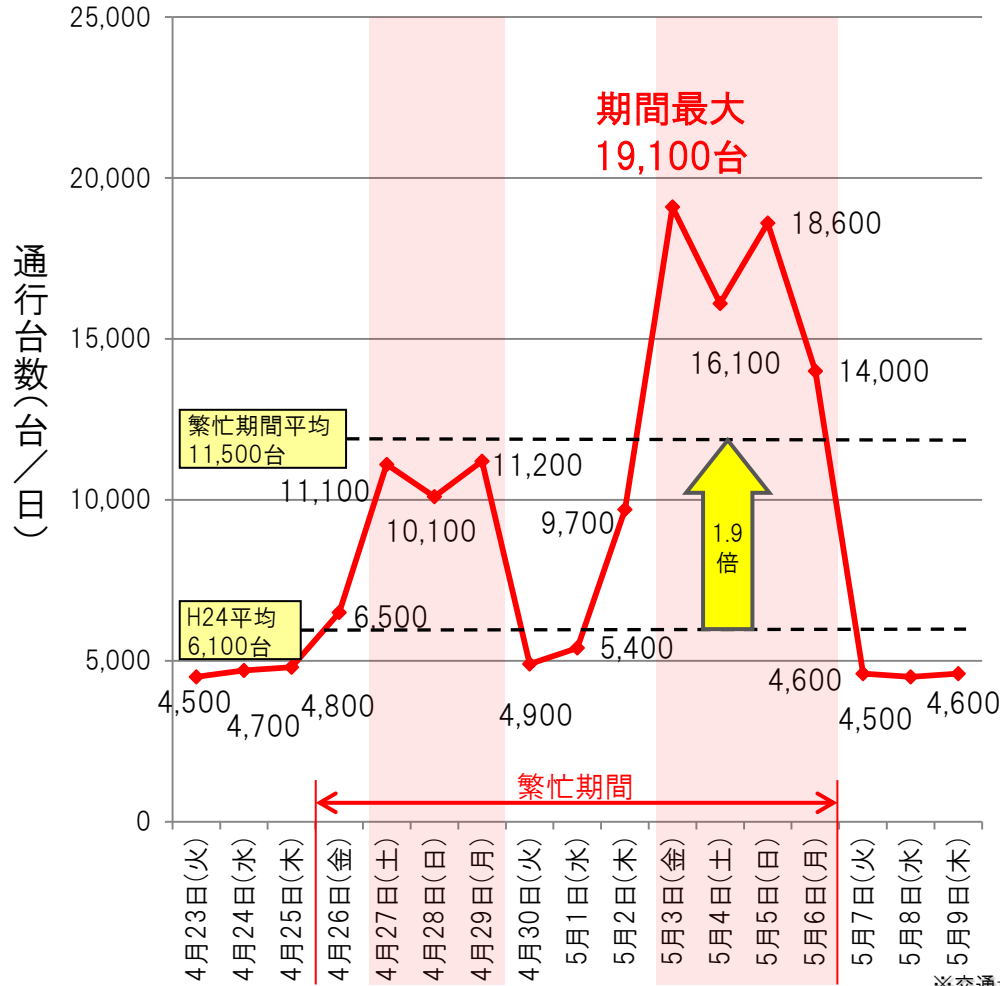


- 夕張～占冠開通後 (H24.4.1～H25.3.31まで)
- 占冠～トマム開通後 (無料化社会実験期間を除くH21.11.1～H23.10.28まで)
- トマム～十勝清水開通後 (H19.11.1～H20.10.31まで)
- 千歳恵庭JCT～夕張開通後 (H11.11.1～H12.10.31まで)
- 十勝清水～池田開通後 (H7.11.1～H8.10.31まで)

# ■ 繁忙期間は利用倍増

## ■ H25ゴールデンウィークの交通状況(トナム～十勝清水間)

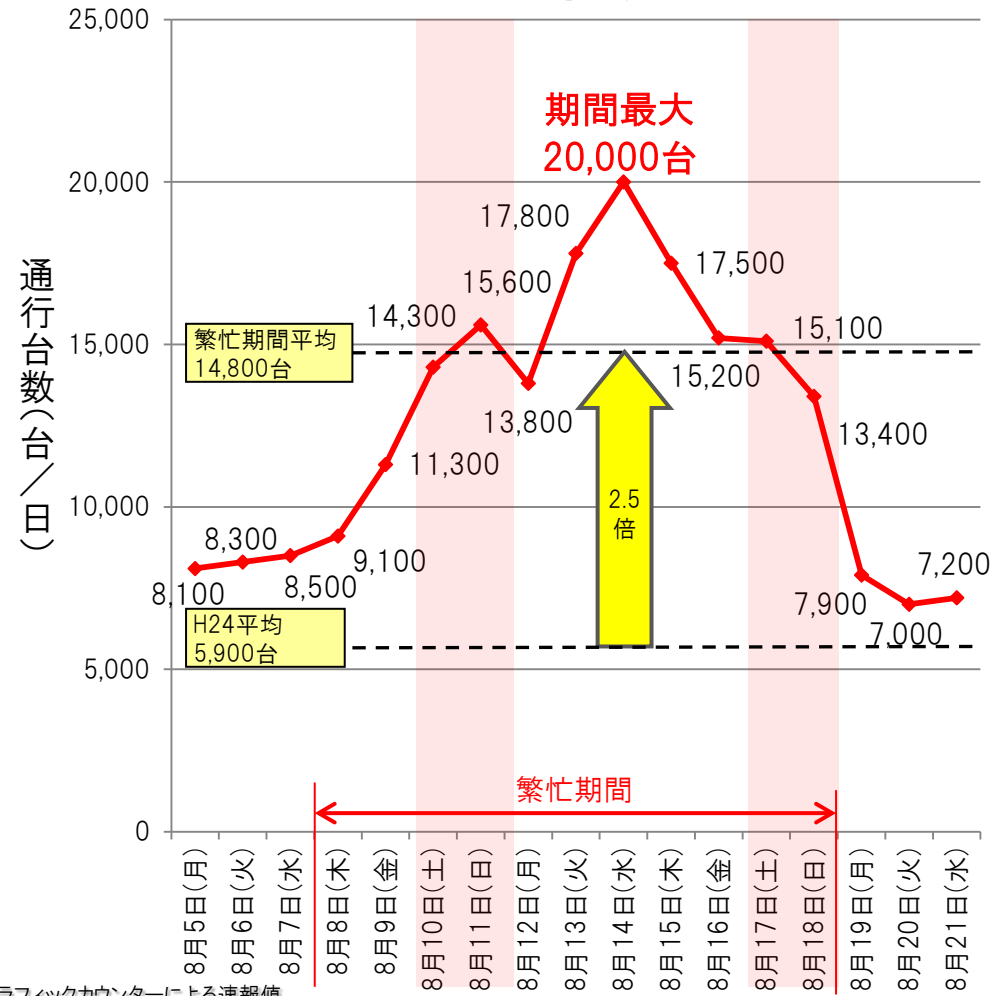
※「トナム～十勝清水」は道東道におけるH25GWの最大交通量区間



※交通量はトラフィックカウンターによる速報値

## ■ H25お盆の交通状況(夕張～むかわ穂別間)

※「夕張～むかわ穂別」は道東道におけるH25お盆の最大交通量区間

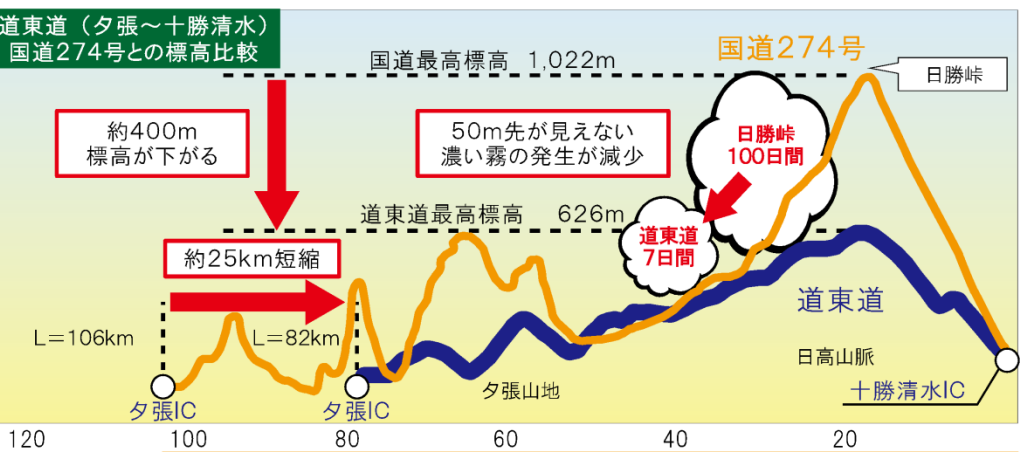


※交通量はトラフィックカウンターによる速報値

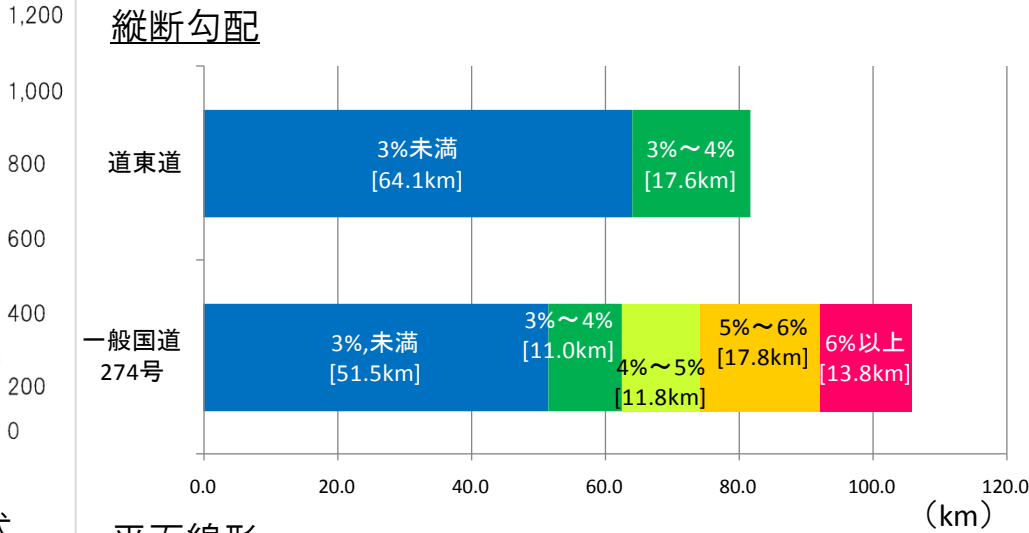
# ■安心・安全な走行環境

○標高が1,022mある国道274号の日勝峠は、濃霧による視程障害が100日発生。  
 これに対して道東道の標高は626mで、視程障害日数は7日間と大幅に走行環境が改善。

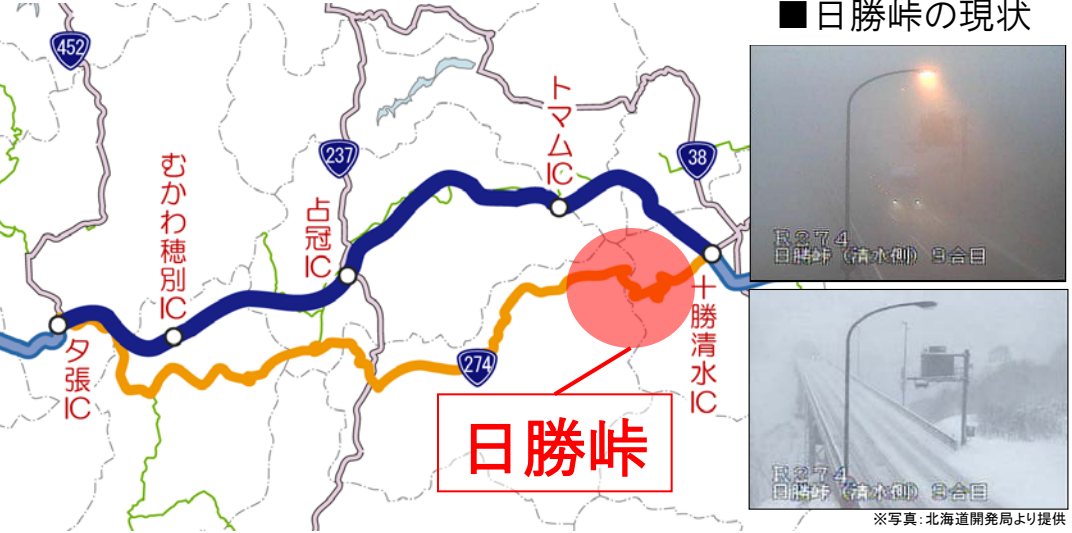
■道東道(夕張～十勝清水)と一般国道274号との標高比較



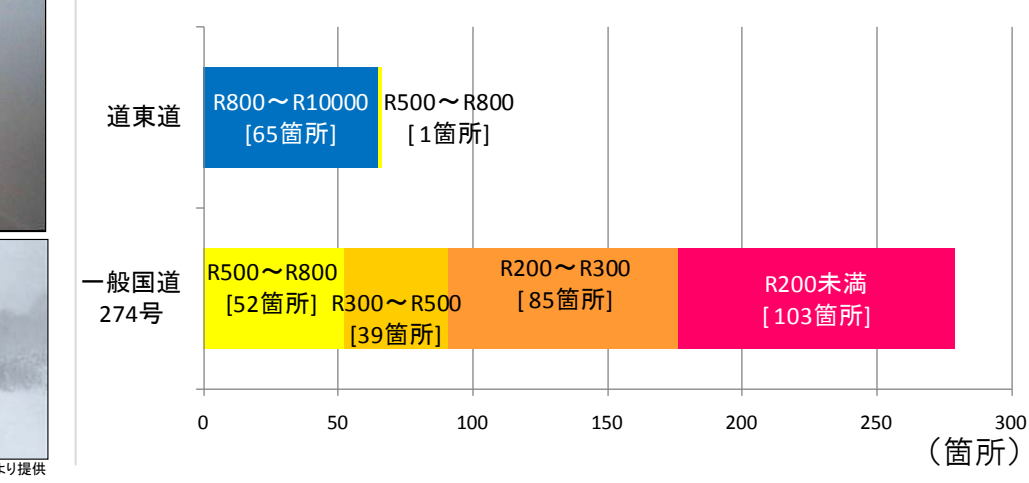
■道東道(夕張～十勝清水)と一般国道274号との線形比較



【距離km】

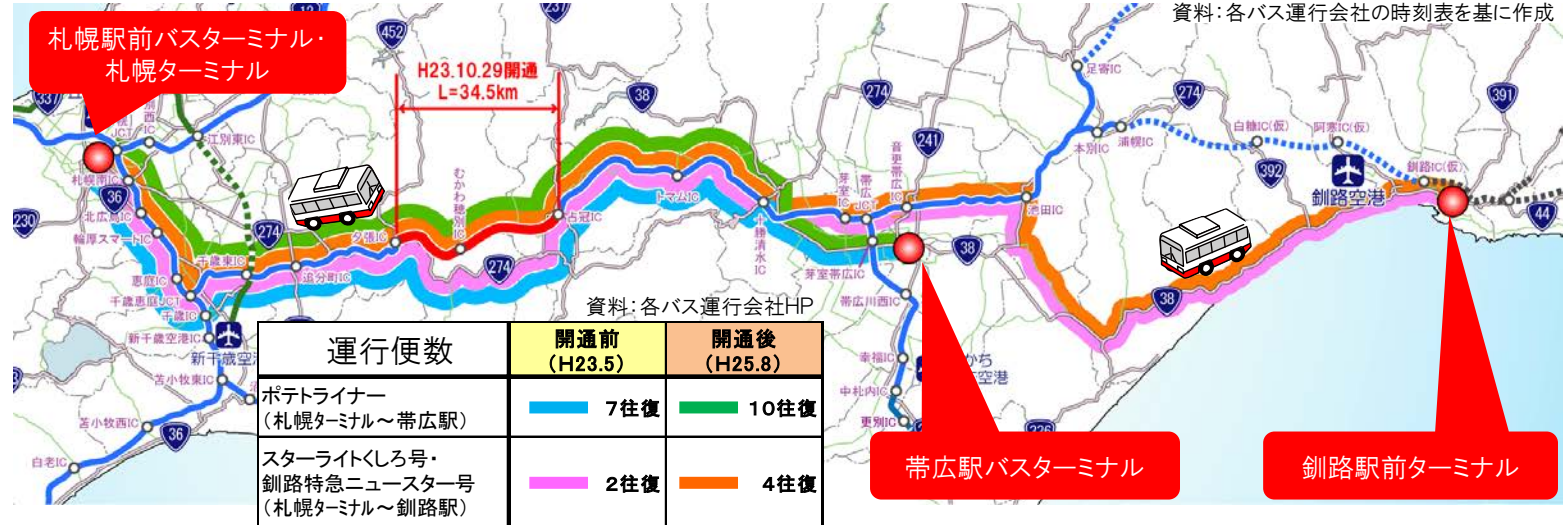


平面線形

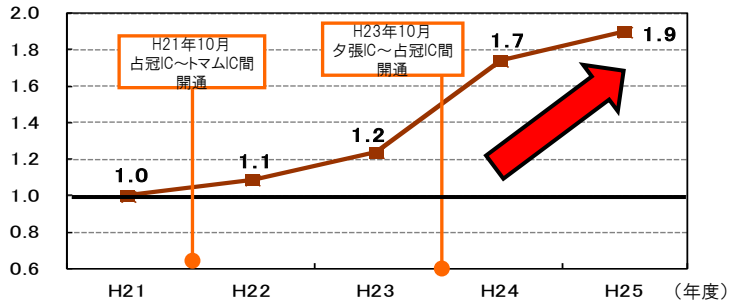


# ■ 都市間バスの利便向上

## ■ 札幌～帯広・釧路間の運行ルート及び便数の変化



## ■ 都市間バス(札幌～帯広間)乗降客の伸び率



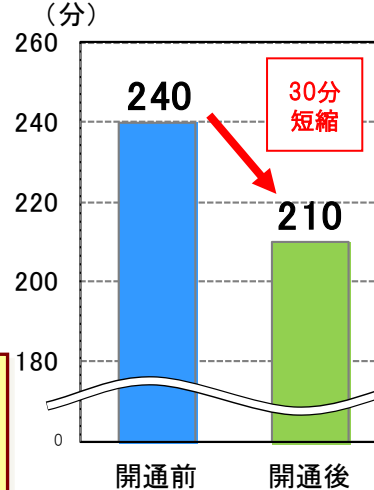
※H21を1.0とした各年度の伸び率。  
各年度は、上半期(4月～9月)の合計値を比較。

資料：バス運行会社ヒアリング

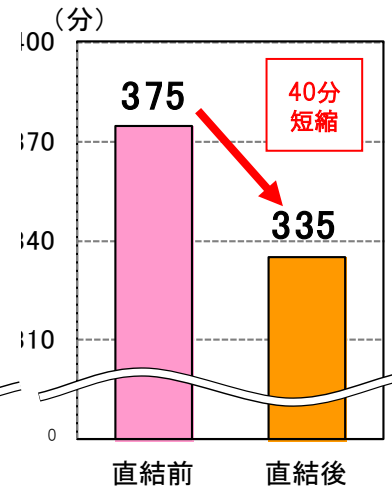
### ■ 地域の声＜都市間バス運行会社職員＞

道東道の延伸に伴いこれまで利用者サービスの向上を図って参りましたが、平成23年秋の開通を機に時刻表の見直し、運行便数の増便など大幅な改善を行いました。この結果、乗降客数が大幅に増加しました。

## ■ ポテトライナーの所要時間の変化



## ■ スターライトくしろ号の所要時間の変化

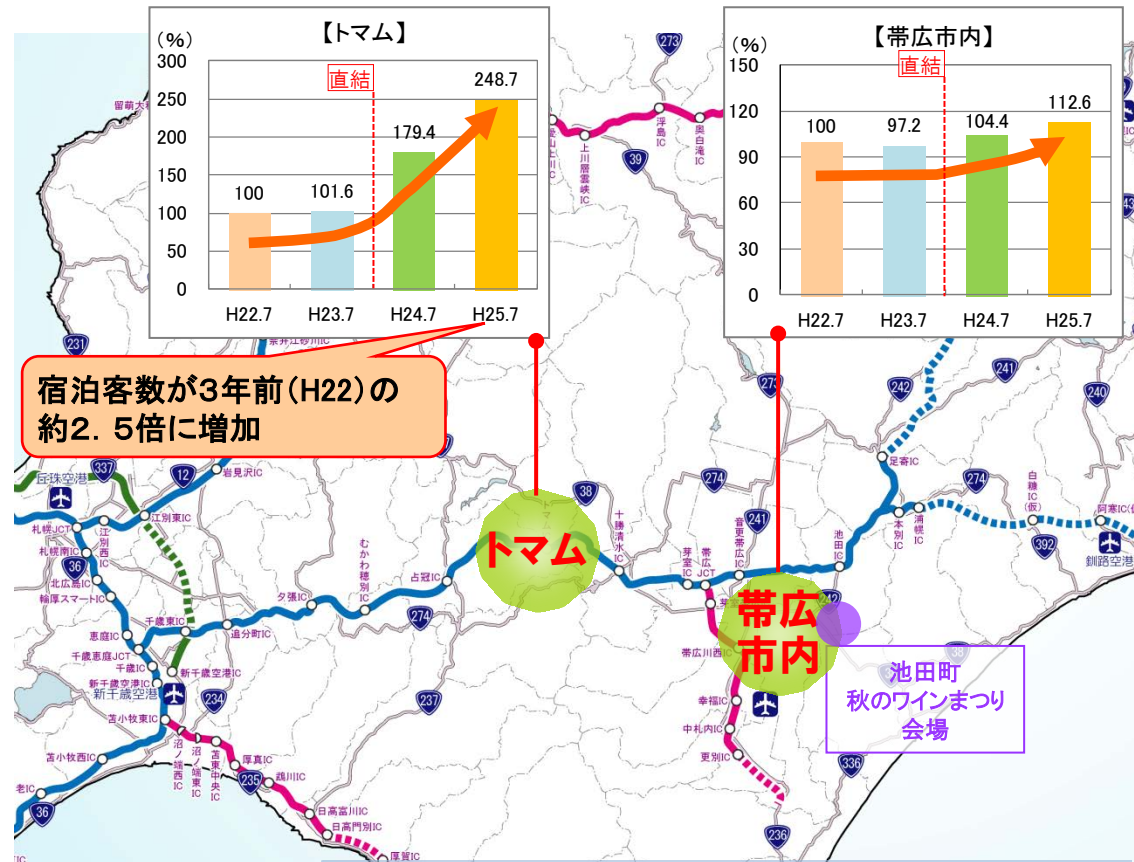


資料：バス時刻表を基に作成



# ■ 地域観光の活性化

■ 旅行代理店A社が取り扱った開通前後における道外からの観光ツアー客数(宿泊数)の変化

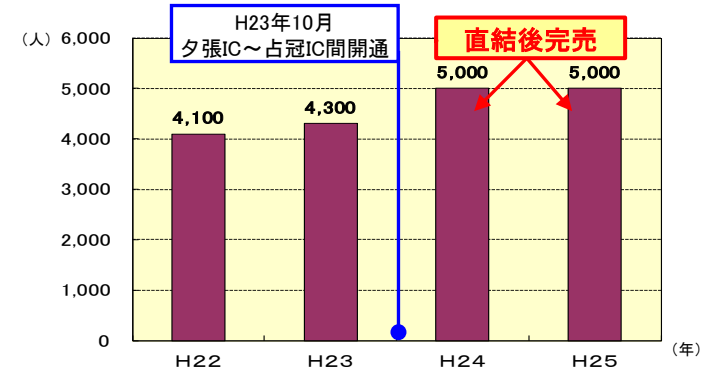


※旅行代理店A社団体観光ツアー実績値(宿泊)をもとに作成  
(H22~H25の各年における観光シーズンである7月の比較)  
※H22.7の観光ツアー客数を100%として算出

○池田町ワイン祭りツアーチラシ



○ワイン祭りの入込み客数の増！(前売券販売数)



■ 地域の声<旅行代理店職員>

- 道東方面と新千歳空港とのアクセスが向上したことにより、道東観光の入込みが増加しているだけにとどまらず、定番で人気のある道外観光客ツアー全体のさらなる観光入り込み増といった相乗効果が現れています。

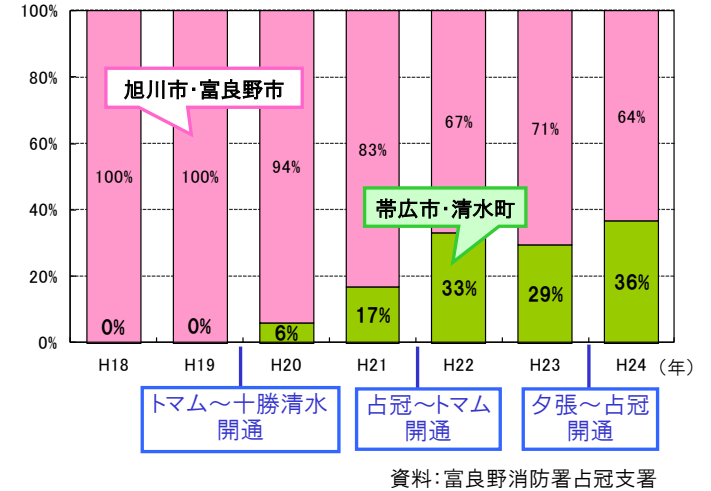
# ■ 地域医療の支援

- 占冠村では、年間約140件の救急搬送が発生。
- 従来、富良野市や旭川市へ搬送していたが、道東道の延伸に伴い、帯広市や清水町への搬送が増加。

## ■ 占冠村からの救急搬送状況



## ■ 占冠村から主要4市町への搬送割合の変化



## ■ 地域の声<富良野消防署占冠支署職員>

・ 占冠村では、冬期のスキー客など村外の方の搬送が大変多くなっています。これまでは、富良野市への搬送がほとんどでしたが、道東道が伸びるにつれて第三次医療圏である帯広市などへの搬送が増えてきています。